

洪水

ハザードマップ (北部版)



洪水ハザードマップ(避難地図)について

この地図は、筑後川、早津江川、城原川、巨勢川、佐賀江川、八田江、嘉瀬川、本庄江、福所江等が大雨によって増水し、堤防が破堤した場合の浸水予想結果に基づいて、浸水する範囲とその程度、ならびに各地区の避難所を示した地図です。水害のおそれがある時には、市から避難情報が出されますので、速やかに避難してください。大雨による災害が発生する場合や状況が日頃から把握し、雨の状況等に注意して、危険を感じたら早めに自主的な避難を心がけてください。



令和4年(2022年)3月増刷

問い合わせ先一覧

■気象関係		
名称	電話番号	
佐賀地方気象台 防災業務課	0952-32-7026	
■行政関係		
名称	電話番号	
佐賀市役所	(代)0952-24-3151	
〃 諸富支所	(代)0952-47-2131	
〃 大和支所	(代)0952-62-1111	
〃 富士支所	(代)0952-58-2111	
〃 三瀬支所	(代)0952-56-2111	
〃 川副支所	(代)0952-45-1111	
〃 東与賀支所	(代)0952-45-1021	
〃 久保田支所	(代)0952-68-2111	
佐賀県庁	(代)0952-24-2111	
国土交通省 筑後川河川事務所	(代)0942-33-9131	
国土交通省 武雄河川事務所	(代)0954-23-5151	
国土交通省 佐賀河川事務所	(代)0952-41-8801	
■災害病院		
名称	電話番号	
(地接)佐賀県医療センター好生館	0952-24-2171	
佐賀大学医学部附属病院	0952-31-6511	
(独)国立病院機構佐賀病院	0952-30-7141	
■警察・消防		
名称	電話番号	
佐賀県警察本部	0952-24-1111	
佐賀北警察署	0952-30-1911	
佐賀南警察署	0952-23-6110	
佐賀西警察署	0952-33-6773	
佐賀広域消防局 北部消防署	0952-62-3442	
佐賀広域消防局 南部消防署	0952-45-6442	
■ライフライン		
名称	電話番号	
(電線の故障に関することは)		
NTT西日本	0120-444113	
(電気のごとは)		
九州電力佐賀営業所	0120-996-303	
(上水道のごとは)		
佐賀市上下水道局	(代)0952-33-1330	
佐賀東部水道企業団	(代)0952-30-6151	
(ガスのごとは)		
佐賀ガス株式会社	(代)0952-30-6161	

用意していますか？非常持ち出し品

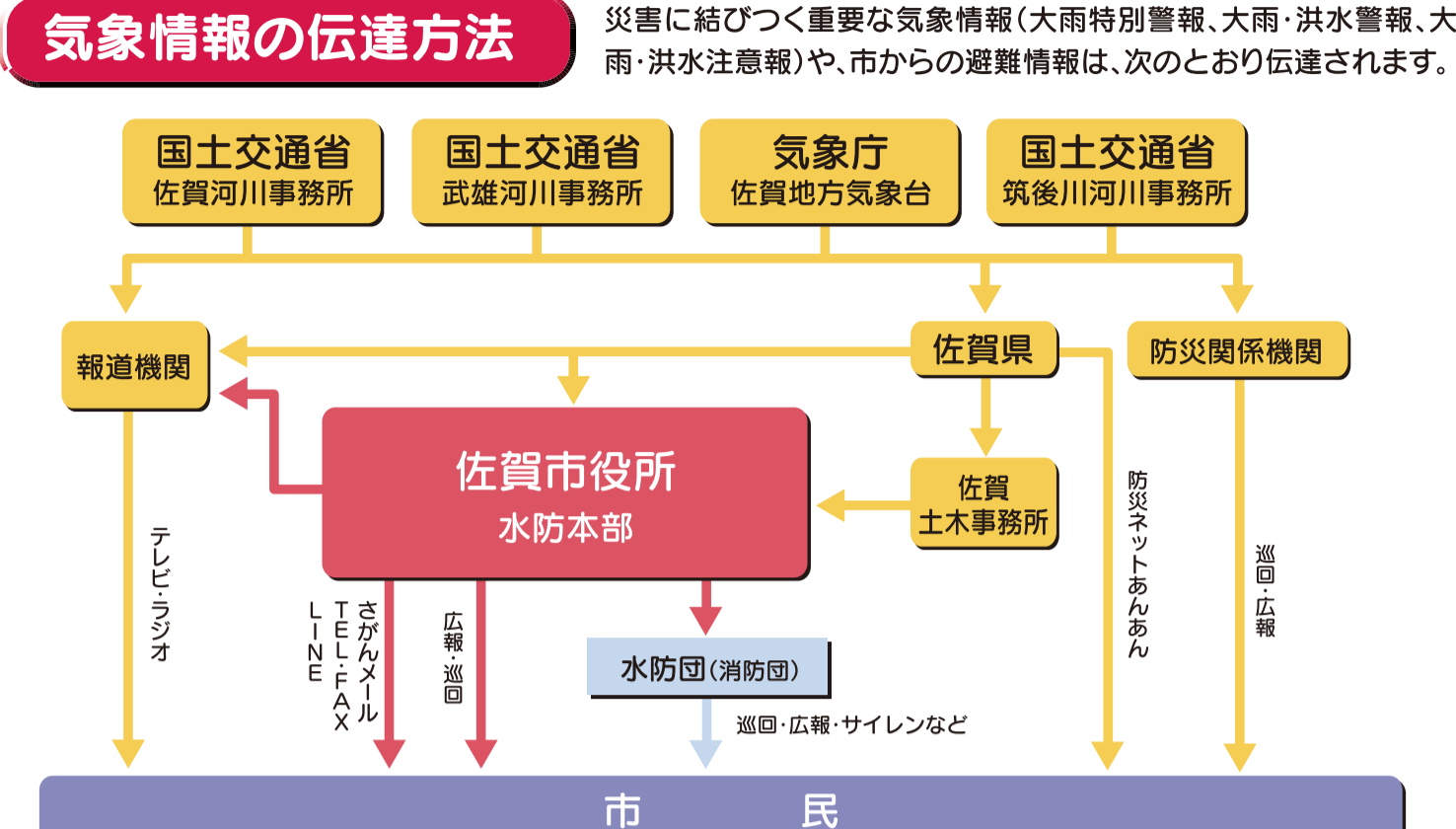
定期的な携行品の点検をしましょう

- 体温計・常備薬・マスク・消毒液
- 救急医薬品・筆記用具
- 懐中電灯・ろうそく・ライター
- ラジオ・予備の乾電池
- 缶切り・ナイフ・ひも
- ビニール袋・リュックサック
- 現金・印かん・預金通帳
- 有価証券書類等の貴重品
- 下着・毛布・タオル
- ティッシュペーパー
- 飲料水・食料 (保存がきき、加工せずに食べられるもの2~3日分)

このハザードマップに関するお問合せ | 佐賀市総務部 危機管理防災課 TEL 0952-40-7013 FAX 0952-24-3187

災害情報について

日頃から災害情報に注意し、「もしも…」の時に備えてください。



- 佐賀市防災ポータルサイト: 緊急情報や防災監視カメラによる道路、河川の状況をお知らせします。
- 佐賀市防災総合システム「さがんメール」: 登録したメールアドレス宛に緊急情報を配信します。コチラのQRコードから登録!
- 佐賀市LINE公式アカウント: LINEでも「さがんメール」の情報を配信しています。

災害時の緊急連絡について

災害時には、多くの人が電話を利用するため、電話が繋がりにくくなります。そのような場合にNTTが設置する「災害用伝言ダイヤル」を利用して家族や友達などの連絡に役立てましょう。

■利用方法: 171をダイヤル

■災害用伝言ダイヤルに関する詳しい情報は、下記ホームページにてご確認ください。

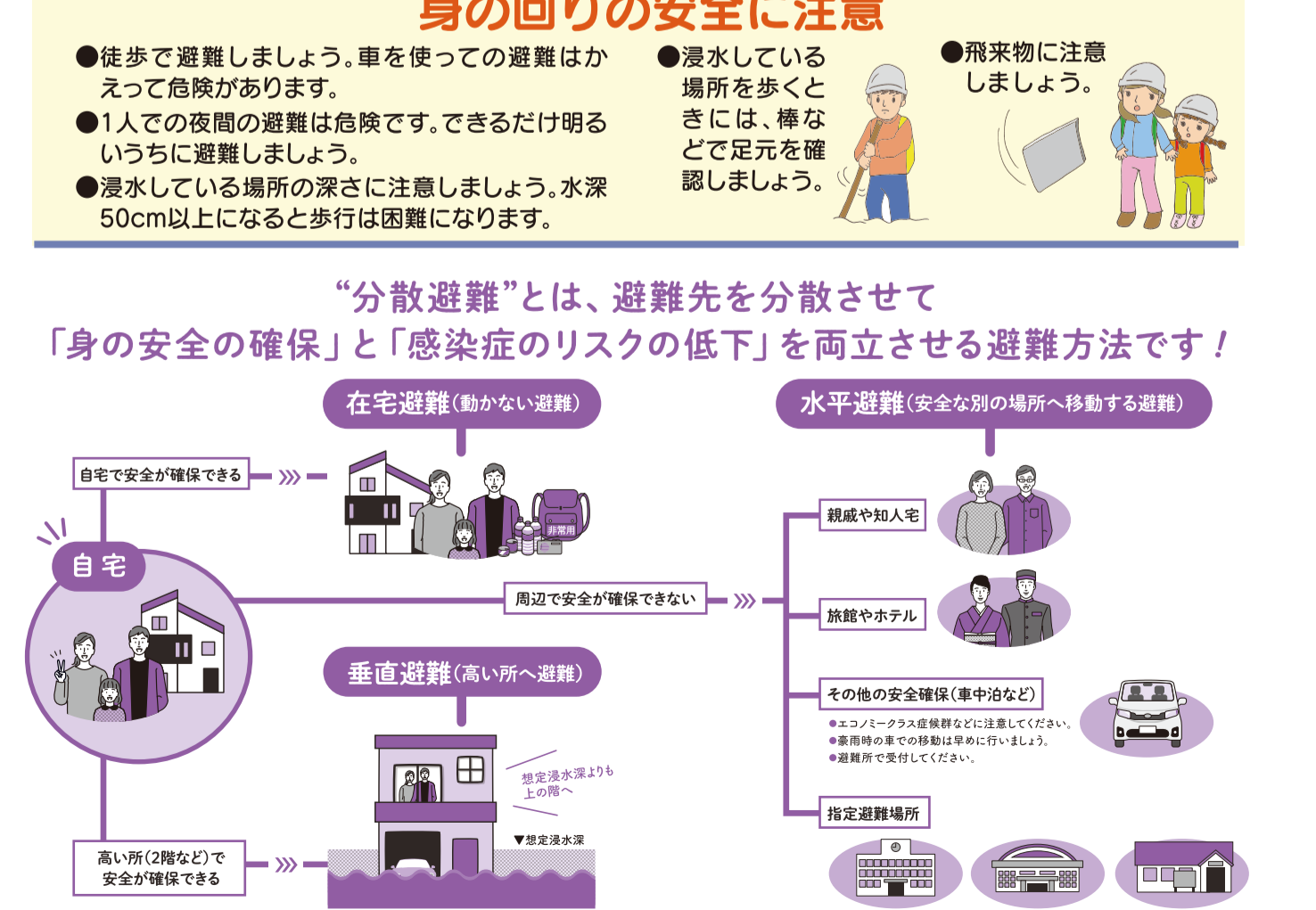
https://www.ntt-west.co.jp/dengon/

災害の予備知識

避難時に注意すること

単独行動は危険なため、複数人で行動するようにし、警察、消防、水防団(消防団)の指示には従いましょう。

- 服装に注意**: 動きやすい服装にしましょう。長靴は水が入ると動けなくなるため、運動靴等しましょう。
- 家の戸締まりに注意**: 避難の際は、火の始末と戸締りを行いましょ。避難時の持ち出し品は必要最小限にするようまとめましょう。
- 荷物に注意**: 持ち出す荷物は最小限にしましょう。避難時の荷物はリュックなどに入れ、できるだけ両手が空くようにします。
- 状況の変化に注意**: 不安を感じたら早めに避難しましょう。特に、高齢者・子ども・身体に障がいのある方がお住まいの世帯では、早めの避難が必要です。
- 身の回りの安全に注意**: 浸水している場所を歩くと、溺れる危険があります。1人で夜間の避難は危険です。できるだけ明るいうちに避難しましょう。浸水している場所の深さに注意しましょう。水深50cm以上になると歩行は困難になります。
- 飛来物に注意**: 飛来物に注意しましょう。



災害の状況に応じて最も適した避難行動を取りましょう!

インターネットで見る災害情報

気象情報・災害情報をインターネットで見られます! 気象情報や災害情報を知るには、テレビやラジオのほか、インターネットでも知ることができ、放送時間が決まっていないため、知りたいた時にいつでも情報を得られる利点もあります。

防災情報関係ホームページ

佐賀県 *防災・減災が「一」水位情報・雨量・土砂災害情報など。 https://www.pref.saga.lg.jp/	国土交通省九州地方整備局武雄河川事務所 *防災インフォメーションリアルタイム情報・事前情報など。 https://www.qsr.mlit.go.jp/takeo/
国土交通省九州地方整備局筑後川河川事務所 *防災情報一河川状況の動画カメラ映像など。 https://www.qsr.mlit.go.jp/chikugo/	国土交通省防災情報提供センター *国土交通省の防災関連ページ、リアルタイムレーダー画像など。 https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/
国土交通省「川の防災情報」 *国土交通省の防災情報HP。(雨量、水位など) https://www.river.go.jp/	佐賀地方気象台 *警報や注意報、気象観測資料など。 https://www.jma-net.go.jp/saga/

雨量の目安

- やや強い雨** (1時間に10~20mmの雨): 地面一面に水たまりができ、話声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。
- 強い雨** (1時間に20~30mmの雨): 土砂降りの雨。傘をさしていてもぬれてしまうほどの雨です。側溝があふれ、小さい河川などは氾濫の心配もあります。
- 激しい雨** (1時間に30~50mmの雨): バケツをひっくり返したような激しい雨。道路陥没も行われます。避難の準備が必要です。
- 降っている雨を観察することで、だいたいの雨量を知ることができます。** 危険な状態になる前に自分で判断し避難ができるよう、雨の降り方と雨量の関係を知っておきましょう!!
- 非常に激しい雨** (1時間に50~80mmの雨): 滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。室内に覆っている人の半数くらいが気づく激しい雨です。
- 猛烈な雨** (1時間に80mm以上の雨): 患傷くなるような圧迫感があり恐怖を感じます。大雨により大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重警戒が必要です。

気象情報の種類と基準

■気象情報の種類		■気象台による大雨・洪水警報・注意報の発表基準	
種類	発表の時期	警報	注意報
情報	注意報・警報を補充する必要がある場合等	大雨	表面雨量指数基準 27 土壌雨量指数基準 109
注意報	災害が起こる恐れがある場合	洪水	表面雨量指数基準 12 土壌雨量指数基準 93
警報	重大な災害が起こる恐れがある場合		
特別警報	数十年に一度の、これまでに経験したことのないような、重大な危険が差し迫った異常な状況にある場合		

避難に関する情報について

水害のおそれがある場合、テレビ・ラジオや市の広報車などで避難の呼びかけをしますので、速やかに避難してください。

避難情報種類	警戒レベル3 高齢者等避難	警戒レベル4 避難指示	警戒レベル5 緊急安全確保
発令の基準	避難判断水位に到達し、かつ、今後の雨量等を動かし、1時間後に氾濫危険水位以上の水位上昇が見込まれる場合	氾濫危険水位に到達し、かつ、今後の雨量等を動かし、1時間後に越水・破堤が見込まれる場合	
河川名 [濁水標]	避難判断水位 [m]	氾濫危険水位 [m]	
筑後川 [瀬の下]	6.80	7.10	
城原川 [日出末橋]	3.50	4.32	
巨勢川 [学校橋]	3.70	3.96	
佐賀江川 [江上]	2.80	2.89	
八田江 [船津]	3.10	3.30	
嘉瀬川 [川上]	4.80	5.70	
本庄江 [今重橋]	2.91	3.10	
福所江 [福所江門]	2.30	2.61	
嘉瀬川 [徳方]	6.70	8.70	
避難情報の目安	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害が発生するおそれがある状況、即ち「災害」リスクのある区域等の居住者等が危険な場所から避難すべき状況に発令。 ● 災害が発生又は切迫している状況、即ち居住者等が身の安全を確保するために互換避難することがかえって危険であると考えられる状況に発令。 		
とるべき行動	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者等は危険な場所から安全な場所に避難(立退き避難又は屋内安全確保)する。 ● 高齢者等以外の人も必要に応じて、行動の見直し、家族等との連絡、非常持ち出し品の確認など避難の準備をし、自主的に避難する。 ● 危険な場所から全員速やかに避難(立退き避難又は屋内安全確保)する。 ● 自宅・施設等及び近隣でとらうる直ちに身の安全を確保する。(洪水や高潮の場合は、少しでも高い場所へ、土砂災害の場合は少しでも安全な場所へ)から速いところへ移動する) 		

降雨情報と河川水位情報の留意点

河川の水位情報のイメージは右図の通りです。その時点の総雨量や、その後の降雨量の予測等から河川水位の上昇を予測し、自主的な避難を判断する事が重要です。

避難行動要支援者の安全のために

高齢者・障がい者・傷病者・妊産婦・乳幼児・外国人など災害時に正確な行動をとりにくい方を「避難行動要支援者」と言います。このような人々を災害から守るために皆さんで協力できるようにしましょう。

- 高齢者・寝たきりの方のために**: 避難時は、杖を持って歩行し、避難所へは、おんぶひもなどを利用し、おんぶして避難してください。
- 肢体の不自由な方のために**: 避難時は、避難所へは、おんぶひもなどを利用し、おんぶして避難してください。
- 耳が不自由な方のために**: 避難時は、避難所へは、おんぶひもなどを利用し、おんぶして避難してください。
- 知的障がいのある方のために**: 避難時は、避難所へは、おんぶひもなどを利用し、おんぶして避難してください。
- 目ที่ไม่自由な方のために**: 避難時は、避難所へは、おんぶひもなどを利用し、おんぶして避難してください。
- 内部障がいのある方のために**: 避難時は、避難所へは、おんぶひもなどを利用し、おんぶして避難してください。

台風の大きさと強さ

台風とは大雨、大風の両方あるいはどちらかを伴った最大風速が約17m/秒を超えて風が強く熱帯低気圧のことです。一般に台風の勢力は「大きさ(風力15m/秒以上の半径)」と「強さ(最大風速)」で表われています。

台風の大きさについて	台風の強さについて
「大型台風」または「大きい台風」 風速15m/秒以上の半径が500km以上~800km未満の台風 「超大型台風」または「非常に大きい台風」 風速15m/秒以上の半径が800km以上の台風	「強い台風」 最大風速33m/秒以上~44m/秒未満 「非常に強い台風」 最大風速44m/秒以上~54m/秒未満 「猛烈な台風」 最大風速54m/秒以上